

## 会 議 録

会 議 の 名 称	第4回登米市新図書館機能検討委員会
開 催 日 時	令和6年10月24日（木） 午後1時57分 開会 午後3時36分 閉会
開 催 場 所	中田生涯学習センター 2階 学習室
委 員 長 の 氏 名	山崎 博樹
出 席 委 員 の 氏 名	知的資源イニシアティブ代表理事 山崎 博樹 登米市教育研究会中学校国語研究部長 佐々木 貴子 登米市教育研究会学校図書館研究部長 高橋 朋美 登米市社会教育委員会議議長 阿部 洋一 登米市立図書館協議会会長 西條 正典 図書館ボランティアだっこ・ラッコ代表 富士原 抄子 伊豆沼読書会代表 及川 俊弘 一般社団法人とめ青年会議所理事長 猪股 圭太郎 公募市民 佐藤 直也 以上9名
欠 席 委 員 の 氏 名	公募市民 石川 幸
事 務 局 職 員 職 氏 名	教育長 小野寺 文晃 教育部長 小林 和仁 教育部次長兼教育総務課長 阿部 信広 教育部生涯学習課長 守屋 乃扶子 教育部生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長 千葉 道宏 教育部生涯学習課主査 伊東 智 迫図書館長兼登米図書館長 木村 浩之 迫図書館副館長兼登米図書館副館長 伊藤 知幸 登米図書館技術主幹 本間 文
議 題	新図書館の望ましい管理運営について
会 議 結 果	別紙のとおり
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	資料1：近隣図書館との管理運営の比較 資料2：新図書館の望ましい管理運営について 参 考：登米市立図書館条例 登米市立図書館管理規則 登米市立図書館利用要綱 登米市中田生涯学習センター条例 登米市中田生涯学習センター管理規則

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	<p>開会に先立ちまして、本日、石川幸委員から欠席のご連絡を受けていますので、報告させていただきます。</p> <p>定刻より若干早いですが、只今から第4回登米市新図書館機能検討委員会を開会します。</p> <p>開会に当たりまして、小野寺教育長から挨拶を申し上げます。</p> <p>【 教育長挨拶 】</p>
事務局	<p>それでは、議事に入ります。議長につきましては、登米市新図書館機能検討委員会設置要綱第5条第1項の規定により、山崎委員長にお願いします。</p>
委員長	<p>本日は4回目の会議ということで、いよいよ議論の最終段階に入ります。</p> <p>これまで図書館の機能やサービスについて話してきましたが、今日は管理的な部分の議論を行います。今後の骨格を決める重要な部分なので、忌憚のない意見をいただきたいと思います。</p> <p>それでは、事務局から説明をお願いします。</p> <p>【 事務局説明 資料1、2】</p>
委員長	<p>資料2に関しては、非常に重要な提案です。これについて皆さんの具体的なご意見を伺いたいと思いますが、一度に全部聞くのではなく、いくつかに分けて進めたいと思います。</p> <p>まず、最初に、休館日、開館期間、それから職員数についてお聞きしたいと思います。</p>
委 員	<p>午後7時までの開館時間の延長は、アンケート結果に基づいており、これからの図書館のあり方を考える上でも必要になってくることだと思います。</p> <p>今できることを少しずつ実施し、試行錯誤しながら、新しい図書館が完成したときには市民がスムーズに利用できるようにしてもらいたいと思います。</p> <p>これからもそのようなサービス展開を期待していますので、よろしく願います。</p>
委員長	<p>他にどなたかありますか。</p>
委 員	<p>二つほどありますが、まずは貸出期間についてです。以前、図書館間の相互貸借サービスを利用して、他の図書館から本を取り寄せてもらいました。その本が水曜日に図書館に届き、私は日曜日しか行けないので、次の日曜日に借りに行きました。そこから2週間借りられると思っていたら、実際は図書館が他の図書館から借りられる日数が2週間で、私自身2週間借りることができませんでした。そのため、かなり急いで読んだ記憶があります。また、返却期限を必ず守るように言われ、かなり焦ったことを覚えています。</p> <p>ちなみに、相互貸借の本は、返却ポストに返せたでしょうか。</p>

<p>事務局</p> <p>委員</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>委員</p> <p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>今のところはカウンターに直接返していただくようお願いしています。</p> <p>日曜日にしか図書館に行けない人もいますので、相互貸借の取り決めに改善していただければと思います。平日午後7時まで開館時間が延長されれば、仕事が終わってからでも余裕を持って借りにいけるので、それは良い提案だと思いますが、残業などで7時までに行けない利用者もいますので、他の方法で改善できる点があれば検討いただくと助かります。</p> <p>もう一つは、職員数についてです。現在の職員数は11人ですが、新しい図書館では、どれくらいの職員数が必要になるのか、指標として目標人数を明記した方がいいのではないのでしょうか。</p> <p>まず、相互貸借についてですが、返却日については、本を借りた図書館から指定されますので、その返却日に合わせて返却いただくことが基本となります。ただし、すぐに受け取りに来られない場合は、できるだけ早く受け取りに来ていただくようお願いした上で、2週間の期間で貸出しをしています。</p> <p>また、他館から借りた本を返却ポストに返せるかという点ですが、本が傷んだり歪んだりする可能性があるため、他の図書館から借りた本については、カウンターで直接返却していただくようお願いしています。</p> <p>貸出しや返却に関しては、ご本人が来られない場合、ご家族の方が代わりに来ていただいても構いませんので、そのような形をご利用いただければと思います。</p> <p>職員数については、今後整備する施設のフロア構成や提供するサービス内容によって、必要な人数は変わってくると認識しています。</p> <p>現在、登米市の図書館は11名の職員で運営していますが、そのうち正職員は4名、図書館司書は2名しかいません。そういった状況の中で、仮に職員数を20人、30人に増やす必要が生じた場合、実際に確保できるのかという問題もあります。</p> <p>そのため、新しい図書館では、より少ない人数で効率的にサービスを提供できる体制の構築が必要であると考えています。具体的には、カウンターの数を少なくしたり、配架動線をスムーズにしたりすることが考えられます。</p> <p>また、自動貸出の導入やICタグといった技術の活用を進め、より少ない人数でも運営できる体制を目指していきたいと思います。</p> <p>登米市の財政状況を踏まえると、何でも増やせばいいというわけにはいきません。図書館についても、効率的な運営が重要になってくると思います。</p> <p>大風呂敷を広げるのではなく、実現可能な範囲の中で最善を尽くすことが大事だと思います。</p> <p>補足ですが、北日本図書館連盟の相互貸借では、日程に関しては弾力的に運営できるようになっています。ですので、各図書館の運用で決めている部分と規程で決まっている部分があるということです。</p> <p>他にご意見や感想があればどうぞ。</p> <p>確認ですが、休館日の月曜日は、完全に中に入れないということですか。</p>
---	--

事務局	<p>休館日は、施設自体が休みですので、職員も基本的には出勤しません。</p>
委員	<p>休館日の無人運営のようなことはできないでしょうか。確か紫波町図書館は、職員がいない時間でも利用者が入れるような設計になっていたはずです。</p>
委員長	<p>入れません。</p>
委員	<p>入れませんでしたか。ただ、もし無人運営が可能であれば、検討していただければと思います。</p> <p>また、開館時間について、24時間返却できるようにしてもらえると大変ありがたいです。夜遅くまで仕事することも多いので、その辺りを考慮していただければと思います。</p> <p>また、本が痛まない返却方法も探せばあると思います。</p> <p>さらに、開館時間に関しては、例えば朝5時から24時まで開けて、職員がいるのは9時から19時という形を取るのには難しいでしょうか。</p>
委員長	<p>紫波町の話がありましたが、図書館は開館時間どおりに運営されています。複合施設なので図書館の手前までは夜間でも入れるようになっています。そこに予約ロッカーが設置されていて、24時間利用可能です。本を借りたい時にメールで予約して、ロッカーから受け取ることができます。</p> <p>夜間本を借りたり返したりしたいというのは当然の要求だと思いますが、図書館職員は女性が多いので、夜間に人を配置するのは難しいため、ICTを活用してカバーする方法が考えられます。</p> <p>例えば、バーチャルで書棚を作り、そこから選んで予約ロッカーで受け取るといった仕組みを作ることも可能です。そうすれば、ブラウジングもできるし、夜でも本が手に入る仕組みが整います。</p> <p>最近の働き方改革の問題もあるので、技術をうまく活用していく方向で解決策を探るべきだと考えます。</p>
委員	<p>図書館構想の中で、市民のコミュニケーションの創出といった話があったかと思いますが、それが果たして午前9時から午後7時までの開館時間だけで十分なのか疑問があります。</p> <p>例えば午後7時以降に社会人サークルが集まって会議を開けるような機能を持たせるべきかどうか考える必要があると思います。</p>
事務局	<p>開館時間については、主に図書館資料の貸出しや返却等のサービスを想定した時間になります。資料1をご覧くださいと、名取市図書館ではカフェコーナーが朝7時30分から開いているという取扱いもありますので、図書館の部屋ごとに開館時間に差を設けることも考えられるかと思います。</p>
委員長	<p>他にご意見ありますか。</p>
委員	<p>例えば図書館でお泊まり会などを開催したい場合、教育長の許可があれば実施できますか。</p>

事務局	<p>内容にもよりますが、登米市立図書館条例の第5条第2項に「教育委員会は、特に必要があると認めるときは、（開館時間を）変更することができる。」という規定がありますので、対応するとすればこの規定に基づき開館時間を変更することになります。</p>
委員長	<p>一般的に開館時間の変更は、図書館長の権限で変更できます。夜のイベントは日本中の図書館でやっていますし、お泊まり会もそんなに難しいことはありません。</p> <p>ただ、登米市の場合は、複合施設として地域交流センターとの兼ね合いも出てきますので、部屋の使い方については今後整理が必要だと思います。</p>
委員	<p>フィンランドでは24時間利用できる無人の返却スペースがありますが、その辺りは導入できないでしょうか。</p>
委員長	<p>無人の返却ボックスは、日本中のどこの図書館でも普通に設置されています。相互貸借や壊れやすい本は返却ボックスに入れられませんが、最近では、返却ボックスを子供用と大人用に分けているところもありますし、返却ボックスに本を入れればカウンターまで自動的に運ばれる仕組みもあります。海外では、ブックトラックが自動化されているケースまであります。</p> <p>ただ、これらはコストがかかるので、職員数と機械化のバランスを取る必要があります。機械も壊れていくので何でもやればよいという話ではないのです。</p> <p>事務局から話があったように、効率化を進めつつ、カウンターの数や動線を強化して、最適な職員数を見極める必要があります。</p>
委員	<p>製造業ではICタグを使って、自動で振り分けるシステムを導入したりしていますが、図書館でも同じようなことはできないでしょうか。</p>
委員長	<p>ICタグは、今回の提案に出っていますが、返却や貸出が容易になるので導入した方がよいと思います。</p> <p>最近では、利用者カードの代わりに顔認証を導入してしているところもあります。</p>
委員	<p>利用者カードが無くなるのですか。</p>
委員長	<p>顔で登録します。ただ、新しい仕組みを導入するのは、少し様子を見ておいた方がよいと思います。最先端の仕組みは、トラブルも多いので。</p> <p>ですが、効率化のためにできることは、やっていく必要があります。特に建築に関しては、カウンターの作り方や職員動線が非常に重要になります。</p> <p>これがうまく設計されていないと、職員の無駄な時間が増えてしまい、職員数が多く必要になる原因になることもあります。</p>
委員	<p>開館時間が延長されることは、利用者にとって大きなメリットです。そのことをどう市民に伝えていくか、情報発信が重要です。</p> <p>図書館は、市民に知の体系を知ってもらう点でも、行政から独立した形をとるべきです。例えば、一関図書館では、文学に堪能な方に館長になってもらっ</p>

<p>委員長</p>	<p>たりしています。登米市でも、最初の段階で、そうした体制が作れば確実に伸びていくと思います。</p> <p>図書館には行政とは違った自主性があり、それをわかってもらいたいなと思っています。例えば、図書館が市長に「あなたが好きな本を3冊答えてください」を聞いたりして、役職や責任から解放された本だけの楽しみを作っていくことが理想だと思います。</p> <p>そのため、図書館の特色をこの望ましい管理運営の中にきちんと取り込んでいってほしいなと思います。</p> <p>情報発信については、ホームページしか書いてませんが、SNS などを使った広報も行っていくと思いますし、来館者には開館時間の説明もしますので、徐々に周知されていくと思います。</p> <p>後段の話は、他の図書館でも行われていることですので、図書館員の運営の方でぜひ考えていただければと思います。</p> <p>図書館は、行政と住民の橋渡しをする存在でもあるので、その点を生かしていくことが大切だと考えます。</p> <p>他の方、何かありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>学校では月曜日の振替休日が年に何回かあって、そういった日は、子供たちは商業施設に行ってしまうことが多いのですが、同じ佐沼に向かうのであれば図書館に行ってもらいたいと考えています。</p> <p>どこの図書館も月曜日を休館日に行っているのが、難しいとは思いますが、水曜日あたりを休館日にしてもらって、子供たちが振替休日に図書館で勉強できるようにしてもらえたらなと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>振替休日は、年何回ぐらいあるのですか。</p>
<p>委員</p>	<p>授業参観や運動会、学芸会に学校独自のお祭り参加のための休みも合わせると、小学校と中学校で10回まではいかないもののそれなりにあります。</p>
<p>委員長</p>	<p>月曜日を休館日に行っているのには理由があって、それは職員の問題になります。週の半ばを休館日に行くと、職員が連続して休めなくなってしまいます。子供がいる職員は、休日に子供と一緒に過ごせないという問題も出てきます。</p> <p>そのため、図書館業界では、なるべく連続して休めるよう、一般的には、月曜日を休館日に行うことが多いです。</p> <p>ただ、子供たちの居場所というのは大事な問題なので、学校の振替休日には、特例的に図書館を振替開館するというやり方もあります。これは教育委員会で決められる部分ですので、運用でカバーいただけたらいいと思います。</p> <p>ちなみに、団体利用の部分で、学級単位で本を借りる場合や複数の先生がまとめて何冊も借りたいといった場合、学校全体だと100冊の上限を超えることもあるのではないかと思います。その辺はどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>小規模校の場合は問題ないかと思いますが、市内には大規模校もありますので、運用面で柔軟に対応いただければあればありがたいと思います。</p>

委員	<p>学校への団体貸出しは、必ずしも有効でない部分があります。返却期限や予約調整の問題がありますので、子供たちに十分に時間をかけて本を読ませるのは難しい。子供たちがすぐに手に取れるように、もっと近くに本を置く形にした方が良いと思います。</p>
委員長	<p>他に何かあります。</p>
委員	<p>いろいろあるんですね。私は提案どおりで良いと思います。</p>
委員長	<p>学校はかなり特殊で、企業や市の施設とは異なり、必要なものが重なることが多く、日程も柔軟に対応する必要があります。</p> <p>図書館の資料は、学校の授業にも役立てなければいけませんので、細則の部分で貸出し手続きなどの簡素化にも配慮した方が良いと思います。</p> <p>また、読解力の向上は、非常に重要です。公立図書館と学校図書館が連携して、資料整備や貸出しの幅を広げる仕組みを考えていかなければなりません。</p>
委員	<p>教科書を読み比べてみると、本をツールとして使い、調べ学習を通じて得たことをまとめる仕組みになっている出版社もあれば、本との出会いや楽しさを大切にした単元構成になっている出版社もあります。これはあくまで私の個人的な感想ですが。</p>
委員長	<p>最近では、学校教育の中で、図書館の利用や本の分類について教えるようになっていきます。</p> <p>また、全国的には、読書支援センターの設置が進んでいます。秋田県では全ての自治体に読書支援センターがあり、学校図書館との橋渡しをしています。</p> <p>それだけ読書は重要ですし、学力の底辺に当たる部分ですから、登米市の子供たちにとっても非常に大切なことだと思っています。</p>
委員	<p>実現はしませんでしたでしたが、以前、図書館に詳しい方が学校を巡回して、学校図書館の運営の仕方についてアドバイスする仕組みを作りませんかと提案したことがあります。今からでも、私たちができることを少しずつやっていけば、確実に状況が改善していくと思います。</p>
委員長	<p>読書支援センターは、今回の提案には含まれていませんが、今後考えなければならぬ部分です。</p>
副委員長	<p>東日本大震災の際、気仙沼の本吉図書館に行ったことがあり、夜7時まで開館していることに驚きました。昼間働いている人たちからの要望で、夜も本を借りたいという声が多かったそうです。震災時は、活字に飢えている人が多く、夜でも多くの来館者があったようです。</p> <p>今回、開館時間を2時間延長する提案がありました。そのためには、マンパワーがないと何ともなりませんので、職員の確保をお願いしたいと思います。</p>
委員長	<p>夜7時まで開館することについては、皆さん好意的に捉えているようです。ただ、土日の開館時間が9時から5時までというのが気になります。これは</p>

委員	<p>職員の雇用の関係だと思いますが、10時から6時という選択肢も考えられます。朝を早めに開館するのか、夜を余計目に開館するのかは、選択の問題でどちらでも対応できるわけです。</p> <p>土日ぐらいは、夜は家に居て家庭と過ごすべきという考え方もありますが、土日でも働いている人がいるということにも考慮しなければなりません。</p>
委員長	<p>月に1回、ナイトライブラリーの日を設けて、開館時間を9時、10時まで延長する方法もあるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>イギリスでは、毎週水曜日はナイトミュージアムということで、夜遅くまで開館しています。この場合は、イベントとは違って、ある程度規則化する必要があると思います。</p>
委員長	<p>登米市は、一次産業が主要な産業なので、そこで働いている方も多と思います。そういった方たちが利用しやすい環境も考える必要があると思います。</p>
委員	<p>農家の方だと土日関係なかったりします。</p>
委員長	<p>ボランティアとしては、10時や10時半からおはなし会をするので、10時に開館してすぐに始めるのはちょっと厳しいかなと思います。</p>
委員	<p>開館時間なので、10時にならないと誰も入れないというわけではなく、一般のお客さんが何時から入れるかです。スタッフは、9時に入って準備して、10時から読み聞かせをスタートするのは可能だと思います。</p>
事務局	<p>過去に迫図書館で遅くまで開館したこともありましたが、その際の利用状況はどうでしたか。すぐに終わったような気がしますが。</p>
委員長	<p>合併した年に1年間試行的に行いました。迫図書館と登米図書館で、週2日、通常5時までのところを6時まで開館延長しました。利用者は多い日でも10人程度で、あまり多くなかったというのが実情です。</p>
委員	<p>急に開館時間を延ばしても、利用者は増えません。サービスと一体なので、夜来る人達に向けたサービスを組まないと来館者の滞在時間が延びるだけです。</p> <p>例えば、ビジネスに役立つようサービスや家族で来られるような企画を併せて検討する必要があります。</p> <p>LINEでのお知らせは、登録者のみの閉鎖的な情報交換ですから、うまくいかないと感じています。発信の活動、7時までの開館時間の延長など、しっかり市民に知らせることが大切だと思います。</p> <p>以前、公民館同士で情報を共有する連絡協議会があり、例えば米川公民館の歴史講座の情報が他の公民館と共有されていましたが、今はそれがなくなり、各公民館のホームページも情報がほとんど更新されていません。</p> <p>これではせっかくの良い情報が共有されず、損をしているような気がします。</p>

委員長	<p>ICT を活用して改善できる部分ではないかと思います。LINE だけでなく、X や Facebook などさまざまな SNS を活用している図書館が増えていますので、徐々に改善されると思います。</p> <p>時間も迫ってきたので、まだ聞いてない市民参画の部分について、ご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>図書館協議会をもっと活性化してもらいたいと思っています。図書館協議会は、市民の代表なので、図書館の運営やイベントにもっと積極的に参加していただきたいです。</p> <p>それともう一つ、図書館職員も含めた勉強会や座談会が必要だと考えています。図書館職員は、市民と間近で接していて、問題、課題を一番感じている人たちですから、そういう方の意見をぜひ聞きたいですし、図書館運営についても一緒に考えていきたいと思っています。</p>
委員長	<p>他の方、ご意見ありませんか。</p>
委員	<p>市民参画の内容については、文部科学省の「住民による図書館支援」という項目の中でも同じようなことが示されています。</p> <p>さて、これまでボランティアの育成がどのように、どこまで進んできたか気になります。現在ボランティア団体はいくつあるのですか。</p>
委員	<p>図書館で活動しているのは、一つだけです。</p>
委員	<p>そういった方々の力を借りて、どんどん輪を広げていくことが大事だと思います。ただ、一つだけではなかなか難しいかもしれませんので、具体的な方策は今のところ思い浮かびませんが、普段から図書館をよく利用している方々の力を借りることも大事ではないかと思います。</p>
事務局	<p>現在、図書館とボランティアの関わりについては、読み聞かせサークル1団体にとどまっています。</p> <p>学校図書館では、学校支援ボランティアという別枠のボランティア登録制度が設けられていますが、図書館にはそういった登録制度が無い状況です。</p> <p>これから新しい図書館の整備を進めるに当たり、知識やノウハウ、時間を図書館に提供していただける地域の方々との連携体制を構築していきたいと考えています。</p>
委員	<p>もう1点、友の会とはどんなイメージのものですか。</p>
事務局	<p>ボランティアについては、図書館の活動を直接的に支援いただく方々ですが、友の会については、図書館の管理下ではなく、あくまで自主的な集まりとして図書館活動をさまざまな面からサポートいただける組織を想定しています。</p> <p>ですから、図書館側がこれを設けるということではなく、そういった気持ちを持つ方々が現れたときに、協働のパートナーとして一緒に取り組んでいけたらと思っています。</p>

委員	<p>今後、ボランティアや一般市民を巻き込んだ市民参加による取組がますます大事になってくると思います。新しい図書館が市民とともに、市民が参加する形で進んでいければ、更に良いものになると考えていますので、ぜひご検討をお願いします。</p>
委員長	<p>秋田市の事例では、友の会は、ボランティアとは別で、図書館に普段来ない方々が資金面や広報面でサポートしてくれる団体です。</p> <p>ボランティアは、直接作業に関わりますが、友の会は外部との関係作りや支援が中心となります。</p> <p>協働にはいくつかの形態があり、例えば職員と住民が同じテーブルで議論し企画を練り上げるような方法もあります。それ以外にも、従来からのボランティアのネットワークの強化や、友の会のようなサポーターを増やしていくことなどがあります。</p> <p>これらを全てやれば日本で一番進んだ図書館になるわけですが、時間もかかりますので、まずは計画の中に入れていただいて、協働というものを強く打ち出してほしいと思います。</p> <p>そろそろ時間になりましたので、ここだけは言うておきたいということがあればどうぞ。</p>
委員	<p>現在、学校再編が進んでいますが、それに伴い学校図書館も統合することになりますので、本を専門とする図書館が、学校に出向き、サポートしていくことが必要ではないでしょうか。</p> <p>図書館協議会のメンバーも、本に詳しいのでお手伝いできると思います。</p>
委員長	<p>学校連携については、考えていかなければならない部分です。具体的な運用については、次の段階で詳細に検討していただければと思います。</p> <p>今のご意見については、読書支援センターを作るのも一つの方法です。ただ、急に個々のメンバーが行って手伝えるのは現実的ではありませんので、まずは、核となる部分をどう組織化するか、そして学校と図書館の連携をどう進めていくか検討することが必要です。</p> <p>時間になりましたので、これで協議を終了したいと思います。それでは、事務局に戻します。</p>
事務局	<p>山崎委員長ありがとうございました。</p> <p>次第4の「その他」に入ります。事務局から特にございませんが、皆様方から何かございますか。</p>
委員	<p>図書館で開催しているおはなし会の情報が迫の生涯学習カレンダーにしか載っていません。もっと広域に情報発信してほしいと思います。</p>
事務局	<p>生涯学習カレンダーについては、各町域の教育事務所ごとの作成になりますが、全市的な取組については、生涯学習課から掲載を依頼することもできますので、次年度の予定が決まりましたらお教えいただければと思います。</p>
委員	<p>新しい図書館と切っても切り離せない地域交流センターの検討が同時進行で</p>

事務局	<p>進んでいます。図書館が別棟で建設される案と、地域交流センターの中に図書館も含まれる案の二つが検討されているようです。</p> <p>これまで本検討委員会では、地域交流センターの話があまり出てきませんが、今後は地域交流センターの情報も共有しながら進めていく必要があるのではないかと思います。</p> <p>地域交流センターについては、現在、整備方法などを検討中であり、まだどういった方向になるかはっきりしていない状況です。進展があればその都度皆様に情報提供させていただきたいと思います。</p> <p>その他、何か皆様方からございますか。</p> <p>ないようですので、閉会に入ります。閉会の挨拶を西條副委員長からお願いします。</p> <p>【 副委員長挨拶 】</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第4回登米市新図書館機能検討委員会を閉会します。本日は大変ありがとうございました。</p>